

2022年6月8日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

ドローン点検は「みる」から「はかる」へ。 球体ドローン最新機種「ELIOS 3」を Japan Drone 2022 で発表

世界初、3Dマッピング用 LiDAR センサーを搭載
点検・施設情報のリアルタイム3D化で産業 DX を実現

ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、代表取締役社長:熊田 貴之、以下 ブルーイノベーション)は、プラントやインフラ施設、工場や上下水道などの屋内点検向け球体ドローン「ELIOS シリーズ^{※1}」の最新モデル「ELIOS 3」の国内発表およびデモンストレーションを、幕張メッセで開催される「Japan Drone 2022」の会期初日である6月21日(火) 11:00より、ブルーイノベーションブース・ステージ(ブース No.AG-11 <https://www.blue-i.co.jp/japan-drone/>)にて行います。



ELIOS 3は、世界初の屋内3Dマッピング用 LiDAR センサーと、飛行空間をリアルタイムに3Dモデル化する SLAM エンジン「FlyAware[™]」^{※2} を搭載しており、点検対象箇所・施設の多角的かつ高精度なデータ取得と、空間情報の3D化によるドローン周辺環境の容易な把握、それによるドローン操作の簡易化と高い安定飛行性を実現しました。

さらに、取得データは ELIOS 3と同時にリリースされる専用解析ソフト「Inspector 4.0」^{※3}を通して高解像度な3Dレポートとして出力され、施設の破損や異常箇所の位置を3Dマップ上で正確に把握・共有することができます。

ブルーイノベーションはこれまで、多くのプラントや工場で ELIOS シリーズを活用した柔軟な点検体制を構築し、点検に係る危険作業や膨大なコスト、労働力不足などの課題を解決してきました。

今回、施設状況や異常箇所をリアルタイムに3Dモデル化する ELIOS 3のリリースにより、点検業務のさらなる安全確保と効率化に加え、3Dデータ利活用による施設の運用・管理や予兆保全への貢献、DX 化の推進に貢献していきます。

■ブルーイノベーション 代表取締役社長 CEO 熊田貴之 コメント

今までのドローンを携帯電話(フィーチャーフォン)と例えると、ELIOS 3はスマートフォンだと言えます。既存の画像や映像による点検はもちろん、LiDAR センサーや SLAM エンジンの搭載により、リアルタイムの取得データの精度や範囲、深度、アウトプット、操作性や安全性など様々な要素が飛躍的に向上しました。さらに、各ユーザーの特定のニーズに応じたカスタマイズができるよう、パイロードにも工夫がされています。ELIOS 3は、点検対象施設のフェーズや課題に合わせて進化する次世代点検ツールであり、皆様の業務改善、DX 化推進に貢献できるものと確信しています。

■Japan Drone 2022 開催概要

会期：2022年6月21日(火)～23日(木) 10:00～17:00

会場：幕張メッセ展示ホール

主催：一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA)

URL：<https://ssl.japan-drone.com>

■会社概要

ブルーイノベーション株式会社(東京都文京区)

1999年6月設立。複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォーム「Blue Earth Platform®(BEP)」を軸に、以下ソリューションを開発・提供しています。

<http://www.blue-i.co.jp/>

- ・点検ソリューション(プラント・工場・公共インフラなどのスマート点検、3Dモデル化など)
- ・物流ソリューション(倉庫内在庫管理、物流など)
- ・オフィスソリューション(警備・防犯、監視、清掃など)
- ・教育ソリューション(社内人材育成、子ども向けプログラミング教育など)

本リリースに関する問い合わせ先

ブルーイノベーション株式会社 PR マーケティング部

E-Mail:press@blue-i.co.jp

【用語解説】

※1) ELIOS シリーズとは

ELIOS シリーズは、Flyability 社(スイス)が開発した、非 GNSS 環境下の屋内空間などの飛行特性に優れたドローンです。球体状のガードを備え、配管やボイラー、煙突といった人が入れない目視外の狭小空間や危険な場所の点検に適しており、これまでに以下の 3 機種がリリースされています。

- ・2018 年「ELIOS 1」
- ・2019 年「ELIOS 2」
- ・2021 年「ELIOS 2 RAD」(放射線の検知・計測)

ブルーイノベーションは 2018 年に日本における独占販売契約を Flyability 社と締結し、ELIOS シリーズを使用した点検ソリューションの提供を提供。プラントや発電所、下水道などを中心に 200 ヶ所(2022 年 3 月末時点)を超える屋内施設でのドローン点検の導入実績を有しています。

詳細はこちら(<https://www.blue-i.co.jp/elios2/>)をご覧ください。

※2)SLAM エンジン「FlyAware™」

最新の LiDAR 技術とコンピュータビジョン、高性能グラフィックエンジンを組み合わせから成り、センチメートル単位の精度の屋内 GPS として機能。高度な自己位置認識とマッピング能力を有し、点検だけでなく空間の高精度な三次元化や測量を可能にしました。

※3) ELIOS 3専用解析ソフト「Inspector 4.0」

Inspector 4.0 は ELIOS 3の専用解析ソフトです。ELIOS 3が取得した各種データから高解像度な3Dモデルレポートを作成・表示し、施設や点検箇所の状況を直感的に把握できます。

以上